

2. 2018年度秋季研究発表会（2018年10月20日〔土〕、駒澤大学）におけるワークショップのテーマ案募集

ワークショップは結論を出すことが目的ではなく、参加者の自由な討論から、多角的な視点や知見を得ることを目的としています。したがって、今後発展が期待される課題や新しい問題を掘り起こすようなテーマでも結構です。

ワークショップの登壇者は、司会者1、問題提起者1の2人体制を原則とします。討論者を設ける場合は、必要性、候補者の人選の理由を、テーマ案要旨のなかで簡潔に説明してください。その場合も、ワークショップの実施形態（一部制、二部制のどちらにするのか）、テーマ案の内容などを企画委員会で検討の上、討論者を設けずに、司会者と問題提起者による実施をお願いする場合があります。また、同様の点を検討の上、討論者のないテーマ案にも討論者を設けることを企画委員会からご提案する場合があります。

※テーマ案の応募件数、テーマ案の内容、開催校の事情を総合的に判断して、企画委員会が、一部制、二部制のどちらか、あるいはその併用を含めてワークショップのプログラムを編成しますので、100～150分で実施可能なテーマ案をご提案ください。

1. 提案者資格

- (1)日本マス・コミュニケーション学会会員であること。
- (2)応募の時点で、応募年度までの学会費を完納していること。

※応募の採否については、企画委員会にご一任願います。

2. テーマ

本学会の趣旨に沿ったものであること。

3. 応募要領

日本マス・コミュニケーション学会のサイト <http://www.jmscom.org/> から「ワークショップへの応募文書」(Wordファイル)をダウンロードして、同文書に記載されている1～6の項目すべてについて、【留意事項】を遵守して記入し、記入済みのファイルを電子メールに添付して送付してください。送付先と応募締切は次のとおりです。

※記入されていない項目があったり、【留意事項】が守られていない場合は、採択を不可とすることがありますのでご注意ください。

[送付先及び応募締切]

送付先：国際文献社 日本マス・コミュニケーション学会 会員業務係

Email : mscom-post@bunken.co.jp (TEL 03-5937-0329)

応募締切：2018年7月5日（木）※必着厳守（受領確認のメールを送ります。もし受領確認メールが届かない場合には、再送してください。なお、受領確認メールは自動応答システムによって送信されるものではありません。）

※採否は、8月末までにお知らせします。

4. 注意事項

- ・採用されたテーマについて、「要旨」の加筆修正をお願いする場合があります。
- ・レジュメ、資料等は、問題提起者・討論者が所定の部数を用意して、ワークショップの当日に会場に持参するか、あるいは定められた期日までに開催校の所定の部署へ送付してください。期日及び送付先、資料等の所定の部数は、後日採用のお知らせとともにご案内しますので、必ずご確認ください。なお、開催校・学会事務局ではコピーを受け付けないのでご注意ください。
- ・研究発表会直前になっての視聴覚機器利用の新規申し込みは、開催校に対して大きな負担をかけることとなりますので、利用の有無は応募時点で確定してください。
- ・応募が採用された場合、「キーワード」と「テーマ案要旨」を会報・プログラムに掲載します。
- ・現在、ワークショップの司会者・問題提起者・討論者は、日本マス・コミュニケーション学会会員に限らせていただいております。つきましては、非会員の方は入会手続きをしていただきますようお願いいたします。